

令和8年度

事業計画

若竹の園

若竹の園 令和8年度事業計画

施設の目的及び運営方針

1. 若竹の園（以下「当園」という）は、保育を必要とする乳児及び幼児を保育し、常に発育に留意し、愛情と適切な環境をもって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。
2. 当園は、倉敷市こども条例（平成23年条例第46号）の理念を尊重するとともに、小学校教育との円滑な接続にも留意し、次のとおり運営方針を定める。
 - （1）保育の提供にあたっては、入園する乳児及び幼児（以下「利用乳幼児」という。）の最善の利益を考慮その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供するよう努めるものとする。
 - （2）保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、利用の乳幼児の状況や発達過程踏まえ、養護及び教育を一体的に行う。
 - （3）地域の様々な社会資源との連携を図りながら、利用の乳幼児の保護者に対する支援及び地域の子育家庭に対する支援等を行う。
 - （4）当園の保育士は、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、利用の乳幼児を保育するとともに、保護者に対して保育に関する情報の共有と学びを伝えるよう努めるものとする。
3. 当園の運営にあたっては、倉敷市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成24年条例第53号）及び同規則（平成25年規則第24号）、倉敷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（平成26年条例第48号）、及び同規則（規則第60号）その他関係法令を遵守する。

クラスの編成状況 R8.4.1

クラス名	年齢構成	児童数	担当保育士数	備 考
ほし	0歳	12	4	フリー 1（短）
ちゅうりっぷ	0,1歳	18	5	
たんぽぽ	1歳	20	4	フリー 1
つくし	2歳	23	5 1名5月から産休	
すみれ	2歳	18	3	フリー 1（短）
さつき	3歳	20	2	
さくら	3歳	22	2	
ゆり	4歳	19	1	フリー 1
ひまわり	4歳	19	1	フリー 1
ばら1	5歳	19	1	フリー 1
ばら2	5歳	19	1	フリー 1
		209	29	7

あゆみメイト	1歳から	10～15名	3	一時保育
--------	------	--------	---	------

月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
25	23	26	26	25	23	293 日
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	23	24	24	22	26	

開 所 時 間

開所保育時間：午前7時00分から午後7時00分（土曜日は午後6時00

延長保育時間：午後6時00分から午後7時00分（月～金）

保 育 時 間

・保育標準時間認定に係る保育時間

7時から18時までの範囲内で、保護者が保育を必要とする時間とし、上記以外の時間帯に、やむを得ない理由により保育が必要な場合は、19時までの範囲内で、延長保育を提供する。

保育が必要な場合は、19時までの範囲内で、延長保育を提供する。

・保育短時間認定に係る保育時間

8時30分から16時30分までの範囲内で、保護者が保育を必要とする時間とし、上記以外の時間において、やむを得ない理由により保育が必要な場合は、7時から8時30分まで、16時30分までの範囲内で、延長保育を提供する。（一回350円）

(1) 新入園児については保護者と担任で相談して、慣らし保育を行う。（約1～2週間）

(2) 日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休園する。

(3) 登降園については事故防止のため、保護者の方に送迎をしてもらう。

(4) おおむね9時ごろまでの登園をお願いする。

(5) 園からのお知らせは、園だより、クラスだより、園内掲示、連絡帳、HP、メール一斉送信等で行う。

(6) 欠席や登園時間が遅くなる場合は、連絡をお願いする。また、9時30分までに連絡なく出席されない場合は、保育園から連絡し全園児の出欠確認を行う。

園 児 健 康 管 理

・嘱託医による内科検診 羽島子ども診療所	年2回
・歯科検診	年1回
・耳鼻科検診 たち耳鼻咽喉科 ・ 尿検査 4, 5歳児のみ	年1回

保 育 目 標

いきいきと 心豊かに 自立する子ども

<保育方針>

☆生活のいとなみを感じる環境で子どもの能力の発達と心の発達を支え、一人一人の育つ力を大切に援助する。

☆太陽と土、水などの自然に十分ふれ自然界への感動や創造する喜びを持ち、仲間との遊びの体験をしっかりと積み重ねながら、人格形成を図る。

☆保護者との連携を密にし、子どもの成長を助けるために、保護者と共に考え育てる保育をめざす。

<保育の特徴>

☆一人一人を大切に

☆好奇心を持ち、体験できる環境作り

☆育つ力を大切に援助する

☆わらべうた・昔あそび

☆地域と共に 地域と親しむ

☆体育遊び(大田コーチ体育遊び)

☆大原美術館での体験学習

☆絵本に親しむ

年 齢 別 保 育 目 標 (令和7年度見直し)

【5歳児の保育目標】

・集団の中で 自分らしさを発揮し 共同性や主体性を育む

【4歳児の保育目標】

・自立心を育み 友だちとの関わりを通して主体的に活動に取り組む

【3歳児の保育目標】

・親しみのある人や環境の中で 自分の思いや考えを表現する

【2歳児の保育目標】

・自我の芽生えを受けとめられながら 言葉や遊びを通して関心が広がる

【1歳児の保育目標】

・安心できる保育者に見守られ受けとめられながら 周囲の人や物と関わる

・安心できる保育者との信頼関係のもとで 探索や模倣を楽しむ

【0歳児の保育目標】

・特定の大人との安定した関わりの中で 生理的欲求が満たされ安心して過ごす

保育園の一年(主な行事予定)

《毎月の行事》

誕生会	生まれたこと、大きくなったことを喜び、みなでお祝いします
身体測定	身長、体重(3ヵ月ごとに胸囲)、乳児は頭囲を計測してお知らせします
健康観察	頭髪、耳垢、爪や皮膚の状態を観察します 虐待チェックも兼ねる
災害訓練	実際の火災や地震又は不審者侵入を想定して、避難場所への訓練や消火・通報の訓練をします

《年間の主な行事》

年中行事は青色

春	入園式・進級式・個人懇談・金柑・サクラランボ・ユスラウメ、アンズの収穫・れんげ摘み 参観日・こどもまつり(端午まつり)・シャボン玉や泡遊び
夏	七夕まつり・蝉とり・水フェスティバル・1DAYCAMP・プール遊び・タベの集い
秋	祖父母参観日・わくわくスポーツ・園庭整備・焼き芋大会・お月見会・芋ほり遠足 柿の収穫・3歳以上児遠足・落ち葉遊び
冬	クリスマス会・お餅つき・とんどまつり・七草粥作り・凧揚げ・生活発表会・節分祭 ・ひな祭り・国際ホテルでテーブルマナー(5歳児)・個人懇談・参観日 卒園式・同窓会(6年生を迎える会)

保育所体験特別事業・育児相談

- ・保育園が地域に開かれた「児童福祉施設」として、日常の保育を通して蓄積された子育ての知識、経験、技術を活用し、また保育園を利用して子どもの健全育成及び地域子育て家庭の支援を図る。
- ・保護者や地域の人々と子育ての喜びを分かち合い、子育てや保育に関する知恵や知識を交換し、ての文化や子どもを大切にする価値観などを共に紡ぎ出していく。
- ・発達に課題を持ち、特別な配慮を必要とする子どもの保護者との面談機会を在園地域にかかわらず 設けて支えていく。
- ・地域の特性に応じた保育として対象児童との交流、在宅親子を対象とした育児相談や園庭開放を行う
 - ・保育体験活動事業(遊びにきませんか) 在宅児親子の保育園開放事業
 - ・地域の特性に応じた保育需要への対応 育児相談や発達相談
 - ・保育園在園児との交流

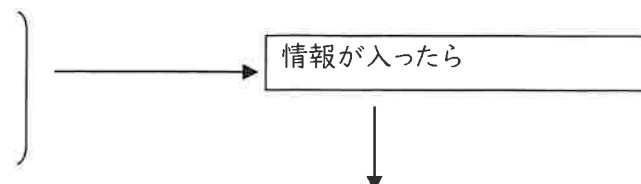
栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年2回
- ・新鮮な季節の素材を使い、盛りつけや嗜好を考えた給食作りを委託業者と話し合い実践する。
- ・給食便りの配布、レシピの公開、季節の体験などを通して食育などに力を入れる。

腸管出血性大腸菌感染症及び集団中毒等の緊急時対応体制

初動体制

- ・保護者
- ・保健所
- ・医師 医療機関
- ・衛生検査機関



- (1) 保育・幼稚園課へ通報(426-3311)
- (2) 即刻該当者及び全園児、職員の健康状態を把握する
- (3) 情報を収集して保育・幼稚園課、保健所の指示を待つ
- (4) 園医に通報(424-3937)

緊急代替給食について

離乳食

固形・液体ミルク・離乳食パウチ、熱湯調理品、解凍による調理品を入手すること。

衛生的であり、食品使用内容が判っていること。

1～2歳児食

市販の1.5歳児用程度の食品で上記内容であること。

3歳以上幼児食

惣菜弁当業者で、幼児食対応が可能で、且つ安全衛生的な店舗を選択すること。

対応献立を相談の上決定し搬送依頼する。

アレルギー児食

かかりつけ医療機関で献立などを相談の上、決定し購入手続きをする。

菓子、果物はできるだけ個分けできる物が望ましい。

状況に応じ家庭から持参するもの(お茶、コップ、箸、3上は主食)

安全管理

- ・非常時における避難誘導及び救出救護対策の確立 防災頭巾・ヘルメット等準備
 - ・園児等の防災に対する知識の向上及び避難訓練・消火訓練等の具体的な防災教育訓練の年度計画の作成
 - ・職員による自衛消防組織の編成 ・BCP作成
 - ・保護者への引き渡し対策(クラスの非常袋に名簿・連絡先携帯)
 - ・震災時における地域との協力体制の確立
- *保育園においては、日常の火気使用時の注意や避難対策などを十分に検討し、園児等の安全を確保する。また、避難訓練を通じて、園児等の安全を確保し、乳幼児の保育という配慮に基づいた行動や態度を避難訓練を通して、園児の安全を確保しなければならない。

職 員 構 成 表

令和8年度

園 長	津田 礼子	
主 任	鎌田 千佳 ・ 茂呂 智子	
看護師	新居田 温子	
ば ら 1	河原 知子 ・ 江本 典子 (フリー)	
ば ら 2	加藤 由佳 ・ 高田 涼子 (フリー)	
ひまわり	高原 琉鳴	} 田邊 裕子 (フリー)
ゆ り	池田 真緒	
さくら	難波 光知子 ・ 森行 亜樹	
さつき	茂呂 智子 ・ 井上 楓歩	
すみれ	須江 智子 ・ 西岡 未宇 ・ 碓井 尚美	
つくし	堤 朋恵 ・ 森 奈津美 ・ 岡本 悠那 ・ 佐藤 萌香 ・ 守廣 七子	
たんぽぽ	岡 有希 ・ 青木 加寿美 ・ 高旗 真理子 ・ 中原 利菜 ・ 高田 裕子 (フリー)	
ちゅうりっぷ	黒住 周子 ・ 福本 府佐恵 ・ 山本 雪乃 ・ 蒲生 美佐子 ・ 江國 早也香	
ほ し	長濱 昌代 ・ 舩津 詩織 ・ 吉岡 真由 ・ 赤澤 里穂 ・ 横溝 千明 (フリー)	
特別保育事業(一時保育)		
あゆみメイト	山田 智美 ・ 守安 紀子 ・ 池上 由希子	
フリー	高田 裕子 ・ 江本 典子 ・ 高田 涼子 ・ 清水 由香利 横溝 千明 ・ 田邊 裕子	
事務	江國 恵里 ・ 藤原 絵美	
用 務	中原 富美子	
保育補助	中垣内 仁子	野口 春佳(育休)

若竹の園 組織機能図

園長 津田礼子

- ・理事会決定事項の就行及び業務報告
- ・園の経営管理
- ・保育計画及び保育業務の統括
- ・苦情解決責任者
- ・園の事務管理
- ・園の財務管理
- ・100周年記念事業
- ・職員の人事管理
- ・会計責任者

主任
鎌田千佳

- ・園長の補佐
- ・保護者支援
- ・地域支援活動の企画・運営
- ・実習生受け入れ
- ・苦情受付担当者
- ・100周年記念事業連携

主任
茂呂智子

- ・100周年記念事業
記念誌作成案に向けての連携
建て替え事業のための寄附連携
及び卒園児名簿作成
- ・保護者会運営
- ・ホームページ更新
- ・給食管理・食育
- ・安全管理

- ・100周年記念事業
乳児棟建て替えに向けて
の連携
- ・保育計画・保育指導
- ・保護者会運営
- ・主任会連携
- ・財務管理補佐
- ・安全管理

棟の責任者

- ・新館上(黒住)・新館下(堤)
- ・年中(難波)・年長(河原)

- ・保育等業務全般
- ・園児の保健衛生
- ・職員労務管理(勤務調整・有給休暇取得管理など)
- ・保育計画の作成
- ・環境整備
- ・行事運営
- ・安全点検

保健責任・事務責任者
新居田温子(看護師)

- ・財務管理(出納職員)
- ・緊急時対応
- ・作成
- ・器具・備品管理
- ・安全計画(リスク管理)BCP

リーダー保育士(専門リーダー)

黒住周子 堤 朋恵 長濱昌代 岡 有希 難波光知子
新居田温子 加藤由佳 福本府佐恵 河原知子 須江智子

サブリーダー保育士

船津詩織 森 奈津美 池田 真緒 山田智美 高田裕子 江本典子

- ・リーダーは4分野、サブリーダーは1分野のキャリアアップ研修を受講し、スキルアップと職員への展開によるボトムアップを図る

令和8年 研究課題

目的

保育園は、一方において家庭が満たしえない保育の条件を満たし、家庭でなし得ない独自の保育機能を発揮・また一方において、保護者の労働と育児を両立を図るために必要な社会要請にも応えていかなくてはならない。子どもをとりまく社会環境が激変する中で、次世代を担う子どもの視点にたち、その育ちを支えていくための人的・物的環境や援助を学ぶ必要がある。

保育園がなすべき役割は非常に重く、その期待は年々深化・拡大されている。より質の高い養護や教育の機能をめていくためには、職員の研修を充実することは必須である。

わらべうたと絵本 手作り遊具（手先の遊び・モンテッソーリの理念を学ぶ）と環境構成

リスクマネジメント 内面・児の理解について、ケアプログラムの実践

食育（栽培や調理行事の実践・自由献立の工夫・保育現場と調理現場の連携）

ハラスメント・ジェンダー・性教育について 保護者支援と保護者対応と解決

書類、保育計画見直し

設備充実の実施について

＊エアコン購入

＊パソコン購入

＊園庭木製遊具補修